

# 愛川町消防団第二分団 人情火消し

2007年 春号

発行 愛川町消防団第二分団

編集 人情火消し編集委員会

## 平成19年愛川町消防出初式



### 分団長あいさつ

高峰地区の皆様方には、日頃から第二分団の消防団活動につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして第二分団広報誌「人情火消し」第3号をここに発行できる運びとなりました。

さて、今年度、第二分団は「一致団結」をテーマに消防活動に取り組んでおります。これは、初心に返り基本動作の重要性を再認識し、団員一丸となって取り組むことで第二分団の結束力を高めることを目的とし、火災等の非常時には、平常心を持って訓練どおりの行動ができるよう、消防技術の向上に励んでいるところです。

昨年実施されました愛川町消防操法大会では、第二分団において合同訓練を繰り返し、お互いに切磋琢磨した結果、第二分団第三部（箕輪）が最優秀賞の栄誉を勝ち取り、町の代表として県消防操法大会にも出場することができました。

その際にも、第二分団が一丸となってそれぞれの役割を担い、各部の盤石な応援体制を支えに第二分団第三部が、これ以上ない演技を披露し、優秀賞を受賞できました。これはまさに高峰地区の第二分団が、今年度のテーマでもあります一致団結して訓練に励んだ成果が着実に実を結んでいるのではないかと、思っております。

今後とも「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、安全・安心な町づくりを目指したいと考えておりますので、この第二分団の輪には是非加わっていただき、高峰地区の絆がより大きくなりますよう、皆様方のご理解とご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

愛川町消防団第二分団

分団長 小島 義幸

副分団長 草刈 敏之

## 第二分団第一部（三増区）



三増地区を管轄する、第二分団第一部の部長佐々木秀幸です。今期、我が部では3名の新入団員を迎えることができました。郷土を愛し、地域を守る熱意が人一倍あり、バイタリティ溢れる若者たちばかりでありますので、今回紹介をさせていただきます。新入ゆえに皆様には何かとご迷惑をおかけいたしますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

《新入団員 関根正史》（新宿）  
私が消防団に入団して、初めての大きな行事が操法大会でした。ホース巻きや礼式訓練など、先輩方の丁寧な指導や説明のもと、様々な事を教わりました。普段の生活では、なかなか体験する事のできないことで、自分自身大変勉強になりました。

この学んだ事を活かせるように、消防団活動に参加し、地域の方々の力強い存在になれたらと思います。

《新入団員 谷島 亨》（上宿）

私は消防団に入り、充実感を味わっています。昨年度は見知らぬ土地へ来て不安を感じていましたが、心あたらない

多くの先輩、仲間と出会い、また、地域のために少しでも貢献できる事を、うれしく感じています。

さらに操法大会においては、選手皆さんの懸命に取り組まれる姿を見て感動しました。

今後は消防団活動を通して、地域の皆さんのために役立てるよう、さらに努力していきたいと思っています。

《新入団員 宮木貴紀》（上三増）

自分ももっていた消防団のイメージは、出初式や、操法大会での凛々しい姿が真っ先に浮かびます。父も長く消防団に在籍していた事もあり、幼い頃から身近に消防団員の方々とふれ合う機会に恵まれていました。

そのため、入団のお話を頂いたときは、内心とても嬉しかったです。操法大会の練習では、先輩方の真剣に取り組む姿勢に刺激され、多くの事を学び取る事ができました。

これからも、先輩方の指導のもとに、少しでも地域に貢献出来る人材になれるよう努力してまいります。



左から谷島団員、宮木団員、関根団員

## 第二分団第二部（小沢区）



愛川町消防団  
第二分団第二部  
Aikawa Town  
Volunteer Fire Corps  
II-2

皆さんこんにちは！  
小沢地域を管轄している第二分団第二部です。

### 郷土愛

私たちは、地域で開催される行事に参加することで、大勢の方々と交流を深める事を大切にしています。

いざという時「皆で助け合える環境づくり」を合言葉に消防団活動に努めています。



夏祭り地域の子供達と交流

私たちを見かけたら気軽に声を掛けてください！

### 今 何ができるか！

「今、もし災害が発生したら…」を考へ、私たち第二分団第二部では消火栓取扱い方法を作成しました。地域の皆さんがわかりやすいよう管轄地域すべての格納箱内に掲示しました。

また、消火栓の蓋鋼蓋が自動車等で踏まれ固くなってしまいがちです。そこで、災害時に開かない事が無いよう、「金テコ（鉄棒）」をすべての格納箱に備え付けました。

これで、もしもの時に消火活動等が敏速にできればと願っています。



### 団員紹介

平成18年4月1日から新体制になりました！

団員構成（定員14名）

部長	熊澤 智嘉 (小沢)
副部長	小島 稔 (梅沢)
班長	近藤 大輔 (小沢)
班長	傍示 康紀 (小沢)
班長	熊澤 政勝 (小沢)
班長	熊澤 正登 (小沢)
班長	熊澤 一友 (小沢)
班長	熊澤 賢一 (上小沢)
班長	熊澤 和俊 (小沢)
班長	四宮 喜平 (上小沢)
班長	榎本 雅 (小沢)
班長	坂元 裕 (小沢)
班長	中溝 育夫 (小沢)
班長	篠崎 直紀 (小沢)

※新入団員です。

一致団結して活動していきますので、今後とも第二分団第二部をよろしくお願いたします。

## 第二分団第三部（箕輪区）



新消防車両



新小型動力ポンプ

昨年10月19日、第二分団第三部に新消防車両が配属されました。  
 町消防署で催された配属式では、車両配属書が、山田町長から柏木団長に、柏木団長から第二分団第三部に手渡され、柏木団長は地域防災の要として活動する消防団に対して「新車両を愛川町の安心、安全のために活躍させていただきたい」と、改めて期待を述べました。  
 また、11月5日には、馬場箕輪区長、中村消防OB会長、馬場県会議員をはじめ、大勢の関係者が見守る中、新車両のお披露目が行われました。  
 新車両には、新型の小型動力ポンプが搭載されており、旧型の消防車両に変わり、箕輪区の防災体制強化のため活動していきます。

**新車両です！**



### 新入団員を紹介します

今年度、第二分団第三部では新たに2名の団員が加わりました。  
 温かく迎えていただきますよう、よろしく願いいたします。

土間 巨幸（原箕輪）

今後発生する災害の際に、少しでも自分で地域のために何かできないかと考えて入団しました。消防団を通して様々な方と知り合え、入団して本当によかったと思っています。

最初は何をしたらいいのか分からず不安でしたが、今では色々とできるようになりました。

消防団を大変だと考えている方も多いでしょうけれども、役に立ちたいと思えば誰にでもできることだと思います。入団を迷っている方は、ぜひ私と一緒に頑張りましょう。

小針 知央（原箕輪）

入団したきっかけは、区長や消防OB会長、草刈副分団長のお誘いを受け、ぜひ消防団として活動してみたいと思ったからです。

入団する前は、具体的にどのような消防団が地域のサポートをしているかよく知りませんでしたが、消防活動や行事等で地域の方々の手助けをすることを経験し、非常にやりがいのあるものだと実感しました。

これからも、地域活動や防災に対し、貢献できるように頑張りますのでよろしく願います。

## 第二分団第四部（角田区）



皆さんこんにちは。第二分団第四部です。今回は、入団してから5年が過ぎようとしている団員に、今までの消防団活動について率直な意見を聞きましたので、掲載させていただきます。  
 先輩、後輩に囲まれて活動している彼らが、5年という節目を期に、消防団の印象はどのようなものなのでしょうか。

今後入団したい方への参考になるかと思えます。

◎小川 邦彦 班長（中の平）

消防団から勧誘を受けて、まず思ったことは、火災に出動したり、お酒を浴びるほど飲んだりする団体のイメージがあり、人付き合いとお酒が苦手な私は入団に疑問を感じていました。

しかし、消防団に携わってから5年が経ち、入る前の印象とはまったく違いました。火事を起こさないように、また災害が起きた時のための活動が主であるということでした。

最近では、先輩方の得た知識や経験を新しい仲間へ教えていくことも活動のひとつであると考えています。

また、様々な人と接したり、何かを皆で成し遂げた時の感動を味わえることも消防団の良いところであると思っています。

楽しく、そして真剣に、消防団活動をしていますので、今後ともよろしく願いいたします。

◎成井 宏幸 団員（海底）

入団してから5年目が過ぎようとしており、紹介したい事は沢山あるのですが、その中で一番手に入れたことが出来難いものについて紹介したいと思っています。

消防団というと、消火活動をメインとして、訓練、警戒、操法大会などが目につきやすいですが、私は消防団とは、色々な人及び地元とをつなげる橋だと考えています。

それは、以前に比べて地元へ接する機会が圧倒的に増えて、祭事等の警戒で、今まで全く知らなかった方々と会話することにより、個人では手に入れ難い、地元とのつながりをもつことができました。

もちろん、団員同士での活動により仲間も増え、何より第二分団第四部というかけがえのない仲間とも知り合えました。

消防団活動に興味を持った方は、ぜひ入団してみたいかと思いますが。



## 第二分団の活動

### 第21回愛川町消防操法大会が開催されました

昨年6月11日に「第21回愛川町消防操法大会」が、激しい雨が降りしきる中、三増公園陸上競技場で開催されました。

消防操法は、消防用機械器具の操作や実践的技術の向上と、土気高揚を図るために、指揮者を中心とした4名が一体となり、「安全・確実・迅速」を基本理念に、火点に見立てた的を倒すまでの所要時間や確実な動作を求めるものです。

この大会には、愛川町消防団15チームが出場し、第二分団（高峰地区）からは4チームが出場、見事第二分団第三部が『最優秀賞』を受賞しました。

今回は、町大会後に「神奈川県消防操法大会」が同年7月に開催予定であったため、各部、例年より早い時期からの訓練となり、選手を含め団員は、体調管理に注意しながら臨んだ大会となりました。消防団員の雄姿が間近でご覧になれますので、興味をお持ちになった方は大会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

#### ★第二分団第一部★



指揮者 小林正弥  
訓練は想像していたよりも厳しかったけれども、団員が一致団結し毎日が充実した日々でした。必ず次回もチャレンジしてみたいと思います。

指揮者 熊澤政勝  
大会を通じ絆が深くなり、士気が高まったことは大きな糧です。指導くださったOBの方々、声援を頂いた地域の方々に、団員一同感謝申し上げます。

#### ★第二分団第二部★



指揮者 関根宏昭  
練習から大会まで、団員や区の方々の支えのもと、選手一体となって臨めたことで色々なものを得ることができました。応援ありがとうございました。

#### ★第二分団第三部★



指揮者 高橋誠  
皆に多大な迷惑をかけながらも3カ月間訓練をしました。当日は雨でしたが、その雨がそれまでの苦勞をいっぺんに流してくれた、そんな大会でした。

#### ★第二分団第四部★



最優秀賞を獲得した第二分団第三部選手

### 平成十八年度 消防団の主な活動報告

- 四月 辞令交付式・ポンプ性能検査
  - 五月 県合同水防訓練
  - 六月 第21回愛川町消防操法大会
  - 七月 第45回神奈川県消防操法大会
  - 九月 防災訓練
  - 十月 秋の火災予防運動
  - 十一月 みねっこフェスティバル参加
  - 十二月 歳末火災特別警戒
  - 一月 消防出初式
  - 三月 春の火災予防運動
  - その他 消防器具・消火栓の定期点検
- 他に、各自治会等の要請により、各種イベントでの警戒活動等も行ないました。



第45回 神奈川県消防操法大会



みねっこフェスティバル参加風景

### 新入団員募集中です!

安全・安心な高峰地区を目指して!

第二分団では、現在一緒に活動してくれる団員を募集しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る!」という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方は、自薦他薦を問いませんのでお気軽に町消防本部(285-3131)までお問い合わせください。